
2025年度(2026年3月期) 第2四半期(中間期)決算補足資料

株式会社ダイヘン

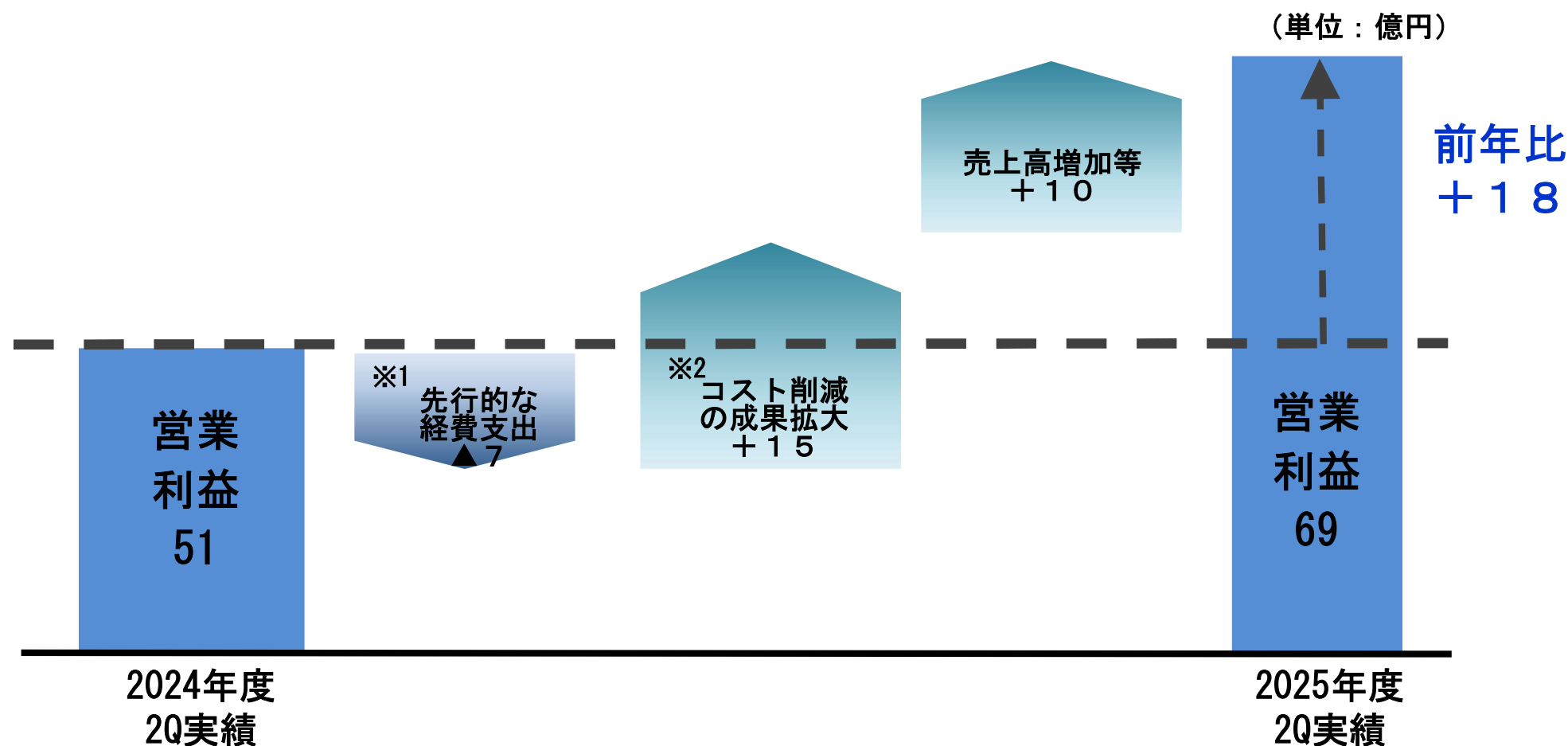
2025. 11. 6

2025年度第2四半期業績

(単位：億円)

		2024年度 2Q実績		2025年度 2Q実績		前年同期比		2025年度 2Q予想				
		①		②		②-①	増減率	③	増減率			
売上高		961		1,052		+91		+9.5%	1,000	+5.3%		
	1	エネルギー・マネジメント	501		539		+38		+7.7%	500	+7.9%	
	2	ファクトリーオートメーション	142		152		+10		+7.4%	160	-5.0%	
	3	マテリアルフローセンシング	317		360		+43		+13.5%	340	+6.0%	
営業利益		5.3%	51	6.6%	69		18		+36.9%	5.0%	50	+38.7%
経常利益		6.0%	57	7.5%	78		21		+36.9%	5.0%	50	+57.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益		4.4%	42	4.9%	51		+9		+22.7%	3.5%	35	+47.8%
開発費投資額			33		35		+2		+6.1%			
設備投資額			33		62		+29		+87.9%			
減価償却費			31		31		+0		+0.0%			

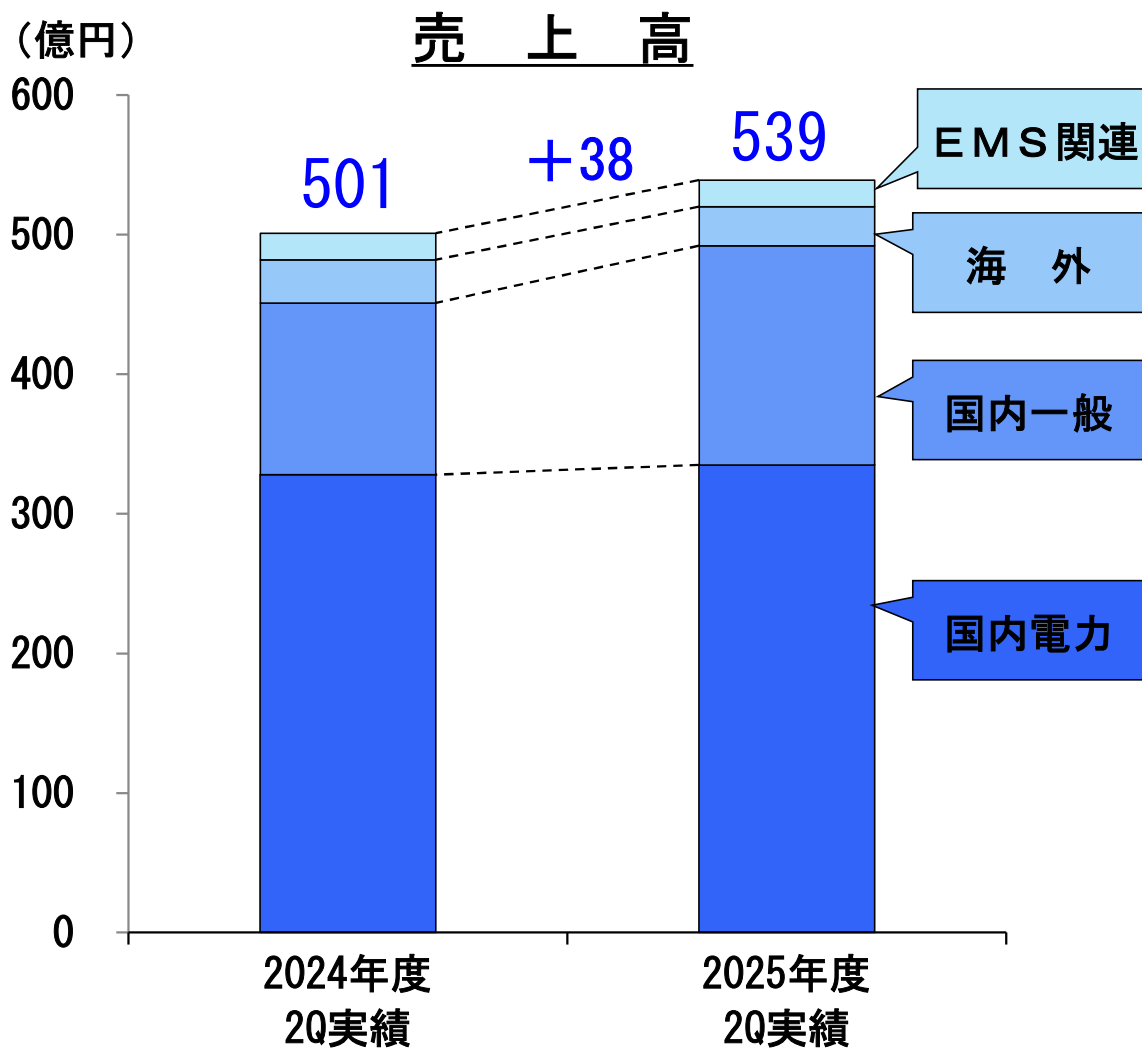
2025年度第2四半期 営業利益変動要因(前年同期比)



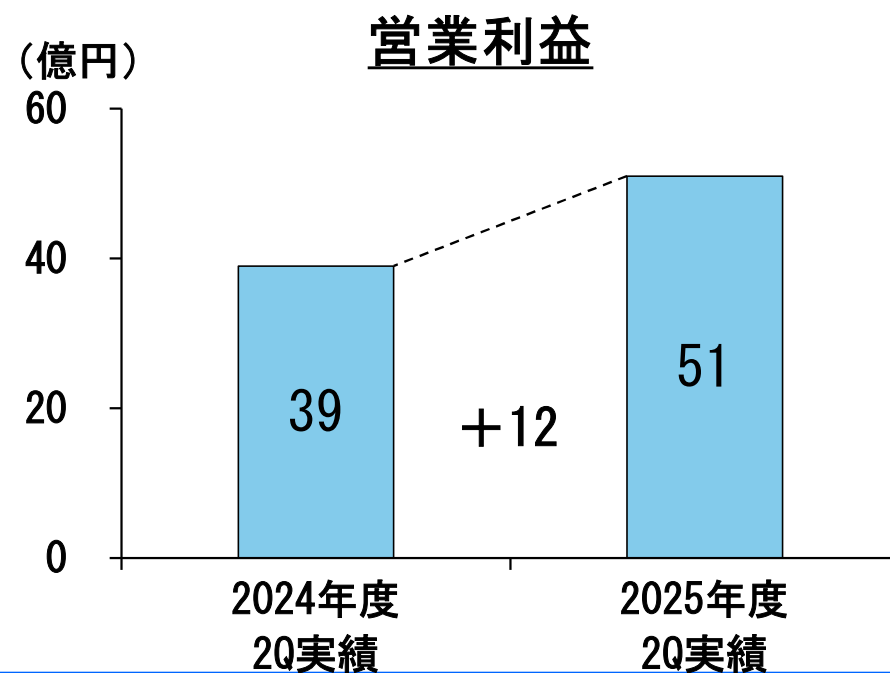
※1. 先行的な経費支出：開発費▲2、賃上げ他▲5

※2. コスト削減の成果：材料コストダウン +8、生産性向上+2、間接業務効率化 +5

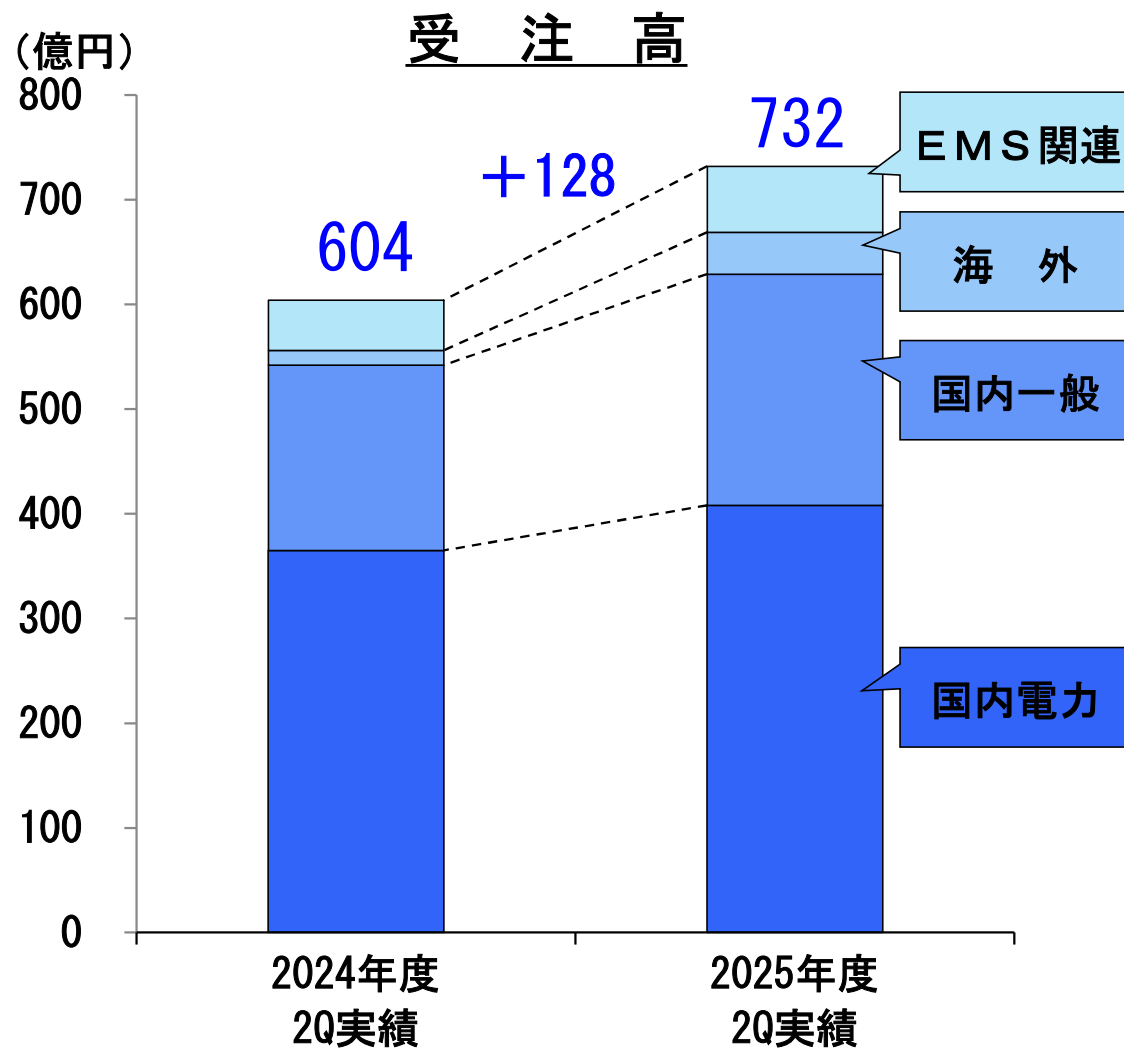
「エネルギーマネジメント」セグメント 売上高・営業利益



・再生可能エネルギー関連投資や受変電設備の更新投資が増加したことにより増収・増益

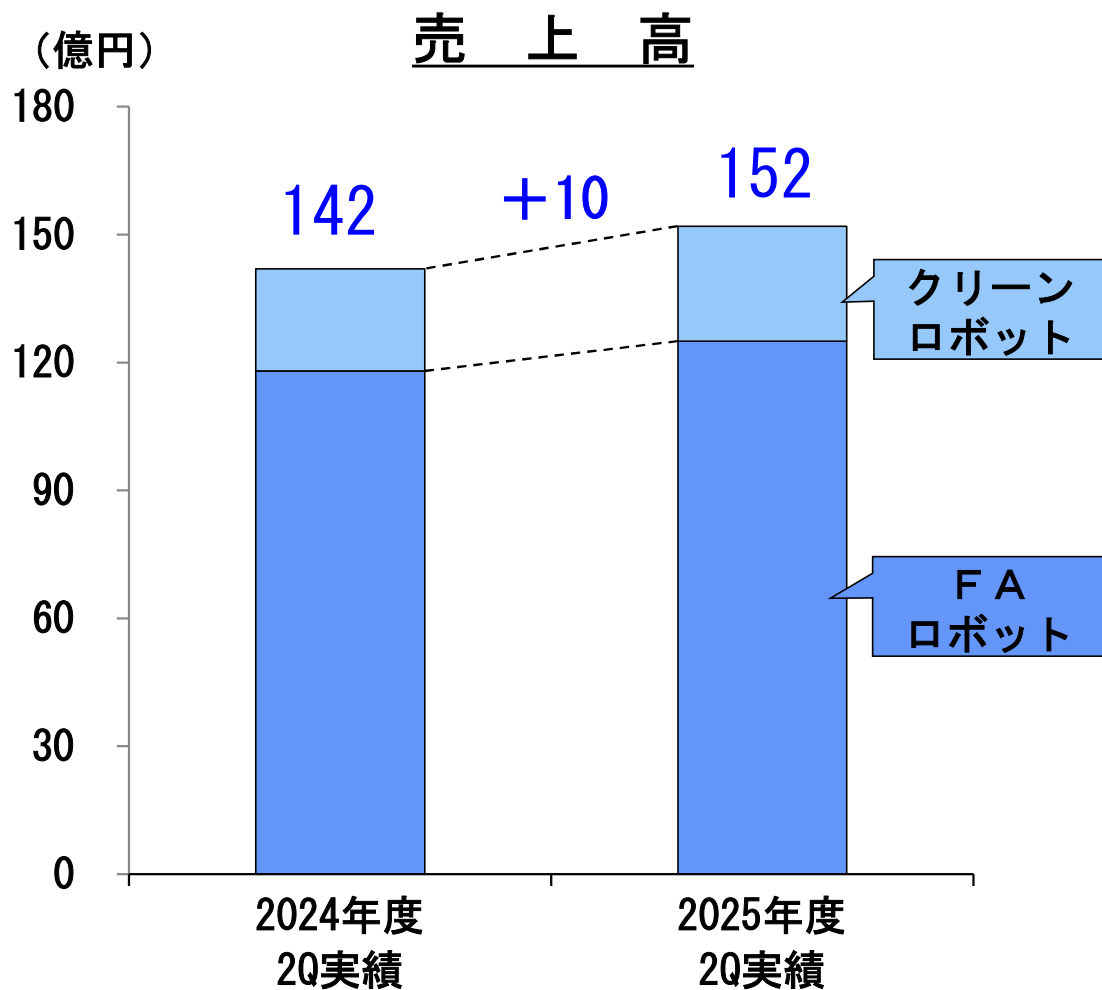


「エネルギーマネジメント」セグメント 受注高

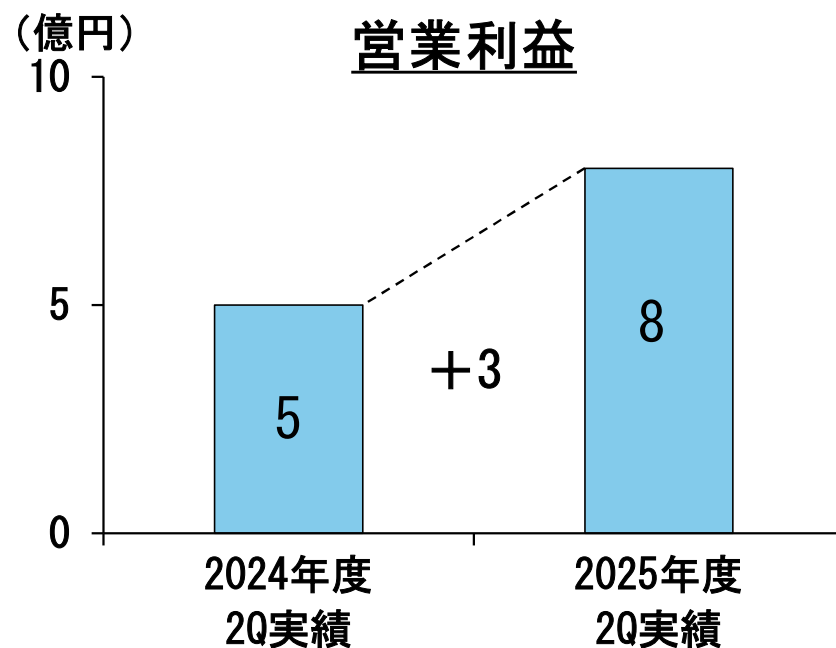


- ・ 国内電力は変電所向け大形変圧器が増加。
- ・ 国内一般は再エネ関連投資に加え、2026年度の変圧器省エネ基準（トッパランナー変圧器第3次判断基準）適用前の受注が増加。

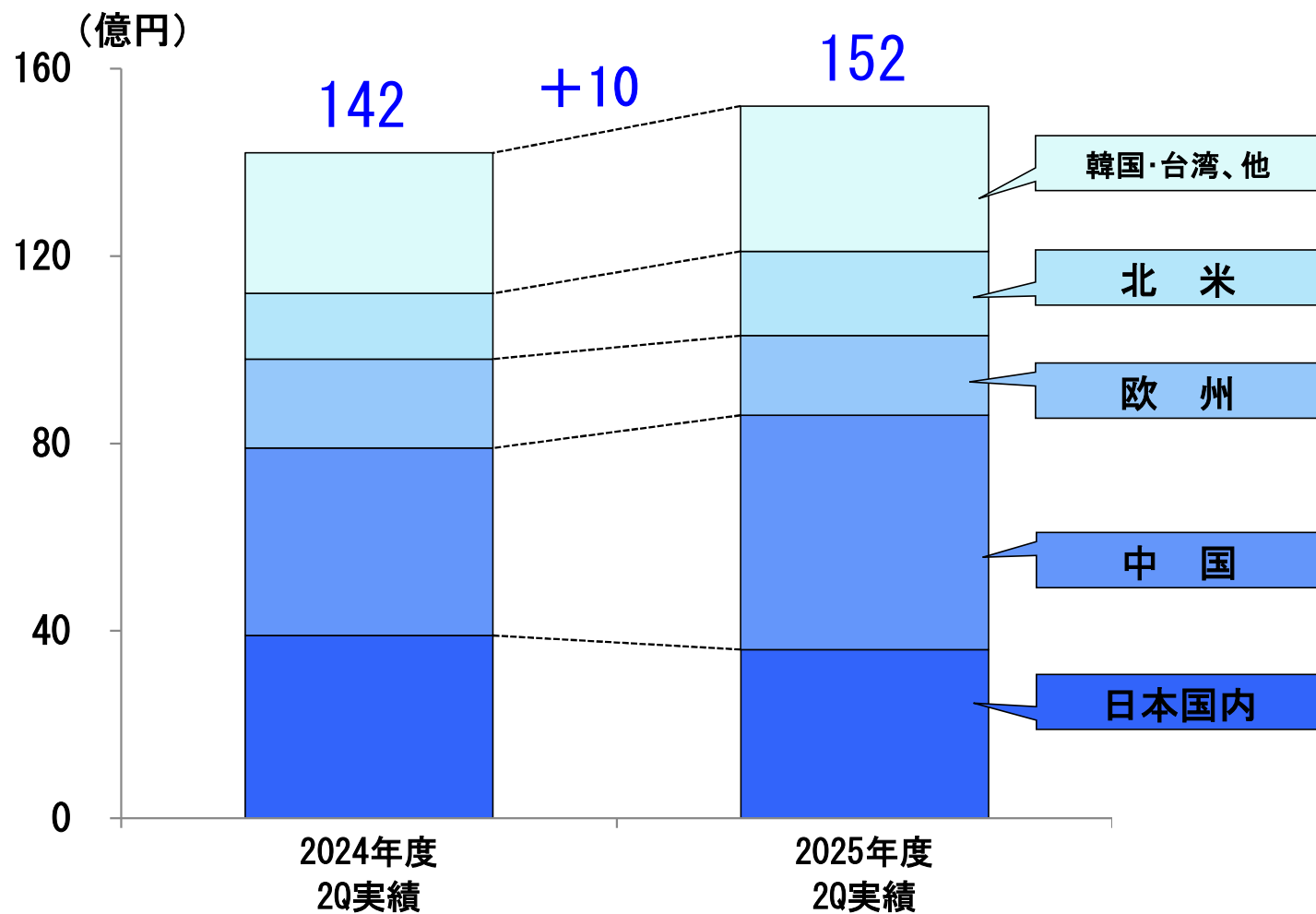
「ファクトリーオートメーション」セグメント 売上高・営業利益



- ・ 米国や中国での新規顧客開拓の取り組みにより増加
- ・ 売上高増加とコスト削減の成果により増益

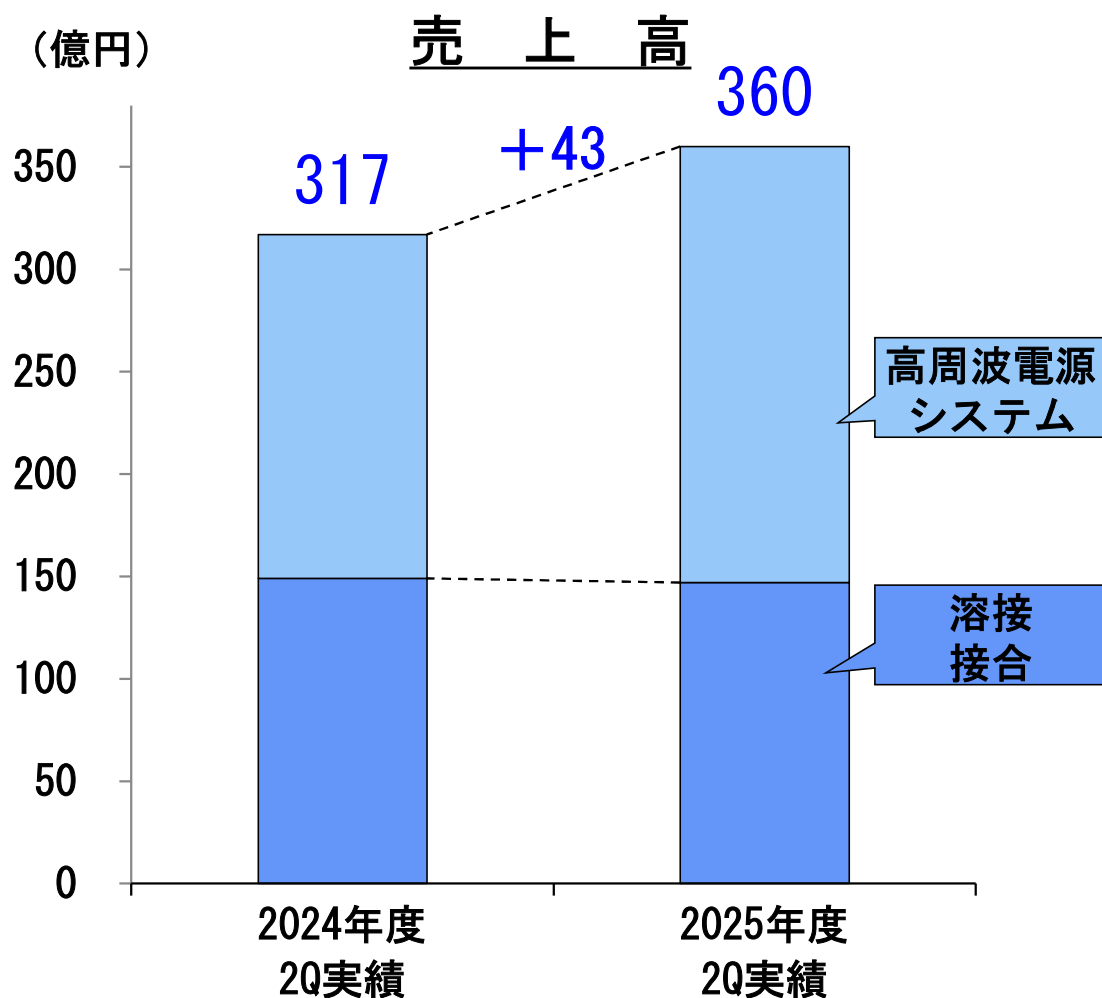


「ファクトリーオートメーション」地域別売上高

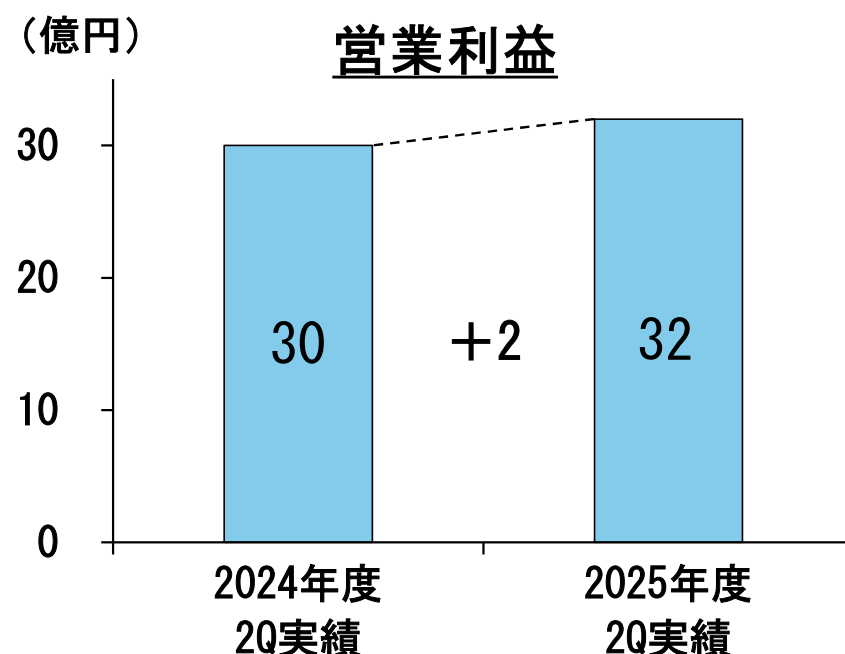


- 国内・欧州では投資抑制の傾向が続いたが、その他地域は増加

「マテリアルプロセッシング」セグメント 売上高・営業利益



- ・ 高周波電源システムは生成AI用途の先端半導体関連投資の継続により需要が高水準で推移
- ・ 売上高増加に伴い増益



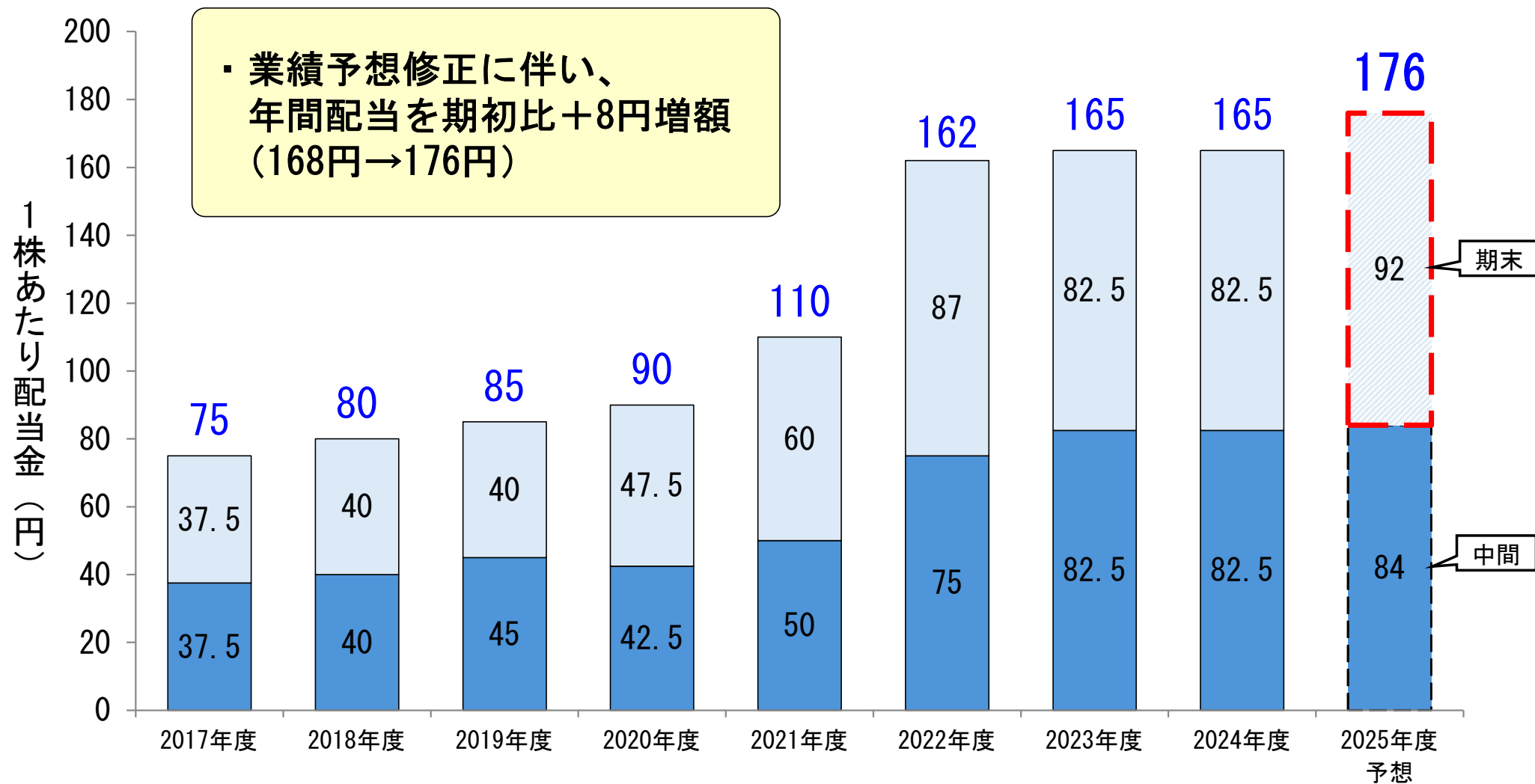
業績予想

- 第3四半期以降は半導体関連投資の先行きに不透明感はあるが、脱炭素関連投資などが堅調に推移することが見込まれる。上期が当初予想を上回ったことを踏まえ通期業績予想を修正。

(単位：億円)

	2024年度 実績 ①	2025年度 予想 ②	前年度比		2025年度 当初予想比	
			②-①	増減率	増減額	増減率
売上高	2,263	2,350	+87	+3.8%	+50	+2.2%
1 エネルギーマネジメント	1,208	1,270	+62	+5.1%	+80	+6.7%
2 ファクトリーオートメーション	327	330	+3	+0.9%	-10	-2.9%
3 マテリアルフローセンシング	726	750	+24	+3.3%	-20	-2.6%
営業利益	7.1% 161	7.9% 185	24	+14.4%	15	+8.8%
経常利益	7.6% 171	8.1% 190	19	+10.6%	15	+8.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5.3% 119	6.0% 140	+21	+17.0%	10	+7.7%

配当金の推移



将来予想に関する注意事項

- 本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。
- なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。
 - － 主要市場における経済情勢及び需要・市況の変動
 - － 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - － 為替相場の変動
 - － 原材料価格の相場変動
 - － 競争企業の製品・サービス、価格政策、M & Aなどの事業展開
 - － 弊社の提携等に関するパートナーの戦略変化